

NPO法人 Poco a Poco 平成29年度事業報告

1. 事業の成果

平成29年度も地道な努力を着実に実行し、堅調に推移することができたと言える。精神障害を主対象としながらも、知的障害、発達障害、身体障害、さらにそれらの重複障害をかかえる方々が徐々に増え、年々多様な支援の在り方必要性が高まっている。その中で、各人の個別支援計画に沿った様々な能力向上の訓練及び支援に取り組んできた。

平成29年度は、一般企業への就職者が2名で定着支援中、新規利用者が5名、退所者が2名で差し引き1名の増員であった。年間通所率は87%、1日平均17.4人、年間皆勤1名、精勤3名であった。また、就労支援としては既卒業者に対する定着支援、転職相談が3件、東松山障害者就業・生活支援センターZACとの企業実習実施が1件、その他卒業後の家族への支援等を行った。

就労支援会計（作業会計）については、従来から推進してきた木工作業と新たに開拓した請負作業との二本立てとし、双方に目標工賃達成指導員を配置して、特別支援学校の卒業生や様々な特性を持つ利用者にも対応できるよう、幅広く柔軟な支援体制を敷くべく整備を進めてきた。木工に関しては下半期から専門スキルの高いスタッフ2名が加わり、製品のクォリティも木材加工技術も格段に向上している。ときがわ町建具会館やJA東松山直売所、当社屋での店売等、小物を中心とした定番商品の販売が四季を問わず好調であった。年間契約では、生ゴミ処理装置キエーロや観光協会等大口の受注が堅調で、中期的に更なる取引先の拡大が期待される。

家族支援については、年間を通し定例家族会を開催し、面談や電話による対応、相談支援機関や関連機関とのチーム連携等、個々の案件に個別対応してきた。啓発活動事業については、2月19日に登戸診療所院長 精神科医飯田茂先生をお招きして、「心の病気と自立」をテーマにご講演頂いた。また8月25日には夏休み子供工作教室を開催し、社会福祉協議会の方々も交え、子供たちと楽しい一日を過ごした。

地域社会においては、80・50問題等表面化しない引きこもり・不就労を始めとする深刻な社会問題がごく身近に存在することは、今後の重点課題として位置づけることとする。

2. 特定非営利活動に係る事業報告（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害福祉サービス事業	就労継続支援B型事業	毎週5日 9:00～16:00	当法人の施設	常勤・パート 職員9名	支援登録障害者 22名	27,007
啓発活動事業	こころの健康講座	年・1回 2月19日	当法人の施設	常勤・パート 職員8名	支援登録障害者・家族・ 一般市民29名	58
啓発活動事業	夏休み工作教室	年・1回 8月25日	当法人の施設	常勤・パート 職員6名	支援登録障害者・ 社協・小学生32名	20

貸借対照表

(単位：円)

特定非営利活動法人Poco a Poco

平成30年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 37,346,610】	【流動負債】	【 6,873,250】
現金及び預金	30,532,482	短期借入金	86,677
売掛金	5,049,715	未払金	1,107,260
商品	1,612,603	前受金	595,000
原材料	140,360	仮受金	4,909,689
前払費用	11,450	預り金	174,624
【固定資産】	【 8,607,902】		
(有形固定資産)	(8,607,902)	負債の部計	6,873,250
		純資産の部	
建物	2,776,624	【株主資本】	【 39,081,262】
建物附属設備	2,327,017	[利益剰余金]	[39,081,262]
車両運搬具	680,432	(その他利益剰余金)	(39,081,262)
工具・器具	250,898	繰越利益剰余金	39,081,262
建設仮勘定	2,572,931	純資産の部計	39,081,262
資産の部計	45,954,512	負債・純資産の部計	45,954,512